

第 10 回理事会

9 月 2 日 午後 5 時 08 分～7 時 30 分

木下会長、吉本・小田副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・田中（義）・萬・田中（豊）各常任理事、田村・河村・城甲・茶川・山縣各理事、山本・武内・藤野各監事

議決事項

1 山口県医師会理事の補欠選挙について

理事 1 名の辞任届を受け、補欠選挙を執行することを諮り承認議決した。会報 9 月号に告示を掲載し、10 月 28 日開催の第 165 回定例代議員会において選挙を執行する。

2 第 165 回定例代議員会の付議事項について

議決 1 で承認された役員補欠選挙、報告事項 2 題（日本医師会代議員会報告、上半期事業報告）、承認事項（21 年度決算）の提出議案について議決し、日程（案）担当役員について協議、承認した。

協議事項

1 中国四国医師会連合各種研究会議題について

11 月 16 日、高知県医師会担当で開催される各種研究会の提出議題並びに日本医師会への要望・提言及び出席者について協議した。

2 自浄作用活性化委員会答申への対応について

本委員会に諮問した事案について委員長より答申があった。協議の結果、今後この答申に基づき対応することを承認した。

3 「山口県感染症予防計画」の改正（案）について

「山口県感染症予防計画」は平成 12 年 3 月に策定、17 年 3 月改正。この度、19 年の感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）の一部改正及び結核予防法の廃止に伴う国の「感染症予防基本指針」の改正及び「結核予防基本指針」の廃止を踏まえ、22 年度中に「山口県感染症予防計画」

を改正するため、感染症法第 10 条第 4 項の規定により、本会の意見を聴取。協議の結果、基本的には国の基本指針の内容に即した改正となっているため、了承する。意見があれば、9 月 9 日までに。担当理事に一任。

4 福祉・医療施設の立地に関する要綱の制定について

県では、昨年 7 月の豪雨災害を踏まえ、土砂災害警戒区域等における福祉・医療施設の「立地抑制」等に関する県独自の要綱を制定した。主な内容は、「事前相談・協議制」の導入、「土砂災害警戒区域等」における立地の抑制措置等、入所・入院施設に関する補助条件の設定。施行時期は、平成 22 年 7 月 12 日。審議の結果、理事会承認とする。

5 院内暴力・暴言防止ポスターの作成・配布について

診療の妨げとなる医療機関内での暴力・暴言の防止対策としてのポスターの作成にあたり、本会名とともに山口県警察名を挿入するため、県警本部あてに承諾依頼の文書を提出することとなった。

6 平成 23 年度施策・予算措置について

要望項目について各担当において検討、次回理事会で決定することを了承した。

人事事項

1 第 11 次へき地保健医療計画策定ワーキンググループ構成員について

地域医療担当の弘山常任理事を構成員として報告することを決定。

2 県民健康栄養調査検討委員会委員について

山縣理事を推薦することを了承。

報告事項

1 第 1 回自賠責医療委員会・第 71 回山口県自動車保険医療連絡協議会（8 月 5 日）

役員の選出及び未解決事例 2 例について協議。引き続き自動車保険医療連絡協議会を開催。損調部会会員会社 10 社及び損保料率算出機構が出席、個々の未解決事例について処理結果・経過をそれぞれ報告。（萬）

2 医療廃棄物三者協議会（8 月 5 日）

電子マニフェストの普及状況及び「医療関係機関等を対象にした特別管理産

業廃棄物管理責任者」資格取得講習会の開催について協議を行った。
(西村)

3 第2回健康スポーツ医学委員会(8月5日)

11月21日(日)開催の「学びながらのウォーキング大会」におけるスポーツ医学再研修の講師を選定した。(田中豊)

4 日医感染症危機管理担当理事連絡協議会

(8月5日)

今シーズンのインフルエンザワクチンについて、厚労省及び日本医師会から説明があった。(濱本)

5 第2回生涯教育委員会(8月7日)

日本医師会生涯教育制度改正について説明、日医生涯教育協力講座セミナー開催のコーディネーター、23年度セミナーのテーマ案等について協議した。また、117回セミナーの印象記担当者について確認した(杉山)

6 山口県医師会警察医会第2回役員会・総会・第7回研修会(8月7日)

平成22年度総会を開催。続いて、第7回研修会では特別講演(2題)の講演を行った。(弘山)

7 山口労働局雇用均等行政推進員会議(8月10日)

雇用均等行政の運営について説明の後、育児・介護休業法、次世代法関係等について各担当から説明があった。(事務局長)

8 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会

(8月11日)

幹事の委嘱についてほか7件の事項について報告があった。(木下)

9 医療保険対策プロジェクトチーム(8月12日)

集団的個別指導の開催への対応、個別指導の類型区分の問題点等について協議を行った。(萬)

10 勤務医の医師会加入対策プロジェクトチーム(8月12日)

医師会入会金・会費、臨床研修医の県内定着への取り組みについて検討した。

(田中豊)

11 自浄作用活性化委員会 (8 月 19 日)

正副委員長の互選を行い、諮問事項である保険指導 (長期継続) 最近の不祥事等について審議を行い、答申を行った (協議 2 参照)。(萬)

12 郡市医師会予防接種担当理事協議会

(8 月 19 日)

県健康増進課から、7 月 28 日開催の「全国新型インフルエンザ対策担当課長会議」における国の説明内容を、国の資料により説明があった。また、接種費用の設定に係る市町の意向が伝達された。本会から接種費用の設定についての基本的な見解を示した。(濱本)

13 臨床研修国内外研修助成決定交付式

(8 月 19 日)

選考委員会で審査の結果、3 件について助成決定書を交付した。(木下)

14 個別指導「山口地区」(8 月 19 日)

診療所 10 機関について実施され立ち会った。(萬)

15 第 1 回山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会 (8 月 19 日)

県生活衛生課長の挨拶があり、議事に入った。まず座長を選出、動物由来感染症予防体制整備事業の概要及び平成 22 年度事業実施計画案の説明があった。(田村)

16 大島郡医師会との懇談会 (8 月 21 日)

最近の中央情勢、保険指導の問題・課題、診療報酬の改定と問題点等について話題提供をし、大島郡医師会からの意見・要望について協議した。(木下、杉山)

17 第 41 回中四九地区医師会看護学校協議会

(8 月 21 日 ~ 22 日)

大分市医師会看護専門学校の引受けで開催。「看護実践能力の向上を目指して」をテーマに協議・研修等が行われた。(茶川)

18 中国四国医師会学校保健担当理事連絡会議

(8 月 22 日)

19 中国地区学校医大会 (8 月 22 日)

本会担当で開催。午前中の中国四国医師会学校保健担当理事連絡会議では、各県から提出のあった 12 議題について、日医石川広己常任理事をコメンテーターにお迎えし、意見交換した。また、午後の中国地区学校医大会には、日本医師会原中会長、石川常任理事、浅原山口県教育次長を来賓にお迎えし、開会した。中国各県医師会から研究発表、日医石川常任理事と臨床心理士の小嶋氏による特別講演 2 題が行われた。(濱本)

20 中国地区社会保険医療協議会山口部会

(8 月 25 日)

医科では新規 3 件 (交代 2 件を含む) が承認された。(小田)

21 第 54 回社会保険指導者講習会

(8 月 25 日 ~ 26 日)

「在宅医療—午後から地域へ」を主題に日本医師会館において開催され、本会から 5 名の担当役員が参加した。詳細は会報 10 月号に掲載。(萬)

22 県民の健康と医療を考える会「2010 ピンクリボン in やまぐち」実行委員会準備打合会

(8 月 26 日)

実行委員会準備事務局である㈱朝日広告社と健康づくりセンター・世話人 4 団体で、プログラム時間割、会場外における活動、スタッフの担当・配置等について協議した。郡市医師会、構成 16 団体にポスター・チラシを配布し、広く県民の参加を呼びかける。9 月中旬に第 2 回目の打合せを行う。(田中義)

23 救急フェア・AED 心肺蘇生法講習会第 2 回打合会 (8 月 26 日)

9 月 7 日 (火) 萩市で開催する救急フェア・AED 講習会の準備進捗状況について、県から説明があり、検討・確認した。AED 実技講習会は萩市医師会の引き受けて実施。(弘山)

24 第 55 回中国地区学校保健研究協議大会

(8 月 26 日)

山口県の引き受けて開催。主催者として開会挨拶した。(木下)

25 平成 22 年度山口県感染症健康危機管理対策協議会 (8 月 27 日)

「山口県感染症予防計画の改正」について協議した。また、国における予防接種制度に係る審議の状況及び県内の感染症発生動向について報告があった。
(山縣)

26 平成 22 年度第 1 回日医地域医療対策委員会
(8 月 27 日)

委員長・副委員長の指名があり、続いて「国民医療を確保するための地域特性と地域連携のあり方について」の会長諮問についてフリートーキングした。
(弘山)

27 保険指導に係るピア・レビュー(8 月 28 日)

診療所 2 機関に対して、今後の診療報酬請求業務についてピア・レビューを実施した。(萬)

28 第 2 回山口県臨床研修医交流会
(8 月 28 日～29 日)

県内臨床研修医 90 名、医学部学生 10 名、臨床研修指定病院、県医師会役員等、総勢 150 名の参加により交流会を開催した。特別講演、シンポジウム(“症例別診察について”をテーマに、12 の症例についてグループ討議)各班の発表を行い、その後懇談。翌日は臨床研修病院紹介、研修医・指導医による相談を開催した。(城甲)

29 第 2 回山口県糖尿病療養指導士講習会
(8 月 29 日)

食事療法、運動療法、薬物療法 1・2 の 4 講義が行われた。受講者 186 名。(弘山)

30 医事紛争防止研修会(8 月 30 日)

(医)社団成蹊会岡田病院において開催。「医療紛争の現状と問題点」(西村県医師会常任理事)、「最近の医療訴訟」(末永汎本弁護士)の講演等を実施。参加者 195 名。(西村)

31 日医国際保健に関するセミナー(8 月 30 日)

原中日医会長、高久日本医学学会会長の挨拶に続き、武見フェロー帰国報告があり、マイケル・ライシュ教授(米ハーバード大学)の特別講演「オバマ大統領の医療改革 - 日本への教訓」が開催された。145 名の参加者があった。(小田)

32 第1回県民健康栄養調査検討委員会

(8月31日)

平成22年度県民健康栄養調査の実施要領案、実施方針案、調査対象や調査内容等について協議・検討した。(山縣)

33 山口県報道懇話会との懇談会(9月1日)

政権交代、今シーズンのインフルエンザ、医療ツーリズム、山口県医師臨床研修推進センター事業、ホメオパシーへの見解等について話題提供、意見交換を行った。(田中義)

34 広報委員会(9月2日)

会報主要記事掲載予定、県民公開講座(11月14日開催)、歳末放談会(11月11日)について協議・確認を行った。tys スパ特のテーマ、会報原稿募集時における注意事項等について協議した。(田中義)

35 会員の入退会異動

入会7件、退会5件(死亡退会含む)、異動5件〔9月1日現在会員数：1号1,323名、2号945名、3号431名、合計2,699名〕